

二本松市立小学校及び中学校適正配置計画(素案)に関するパブリック・コメント  
提出意見の要旨及び市教育委員会の考え方について

No.	項目等	意見	対応等
1	4頁 基本的な考え方 6頁 各地域の「適正配置」【岩代地域】	4頁及び6頁で、学校は地域コミュニティの核なので重要とあるが、今の学校は地域コミュニティの核となっていない。大多数の人が子どもが卒業してから学校を訪問していない現状である。	地域行事の会場となることもあり、児童生徒が通学することで保護者や地域住民の関心が集まる学校は、その存在が地域コミュニティの核のひとつと考えます。 現在、各学校では、学校運営協議会を設置し、学校と地域が連携・協働し、子どもたちのより良い環境づくりに取り組んでいただいております。今後も地域の方々と協力してまいります。
2	6頁 各地域の「適正配置」【岩代地域】	次の理由から小浜小学校校舎の活用を推奨する。 ・一部校舎はH7改築、他校舎はH23耐震補強 ・小浜小体育館はH17完成 ・小浜中校舎S52落成 ・小浜中体育館はS53完成、プールはS54完成 ・小浜中登校時、山下～反町間の道路幅員が狭く安全確保が難しい ・小浜小は小浜プール、岩代グラウンド使用可	既存校舎を活用し義務教育学校を開設するには、改修が必須となり、校舎の活用については、各小・中学校を比較検討いたしました。 その結果、学校敷地や校舎、体育館の面積が広く、改修や増築を最小限に抑えられると見込まれる小浜中学校校舎を活用することとさせていただきます。 また、ご指摘の通学路の危険箇所については道路管理者である県と協議を行い、具体的に対応すると伺っております。
3	6頁 各地域の「適正配置」【岩代地域】	本来は地域の中間に作られるのが理想。 難しいならば、改築済で外観が明るく、図書館公民館学童保育も近い小浜小学校が適しているのでは。	小浜中学校校舎を活用することについては、前のご意見への回答のとおりとなります。
4	6頁 各地域の「適正配置」【岩代地域】	○通学時間について ・旭地区から小浜地区まで距離があり、通学時間がかかる。今の授業開始時間では起床時間が早すぎ心配。帰宅時間も遅くなり就寝時間が遅れる。 ・中間地点の新殿地区の学校に義務教育学校を開設できないか。 ・子どもに負担にならない範囲で授業開始時間を調整できないか。 ・登下校の方法をバス、送迎等選択制にできないか。 ・距離、時間の問題で登校が難しい場合は通学先を選択できないか。 ・学校敷地内に学童等施設を作れないか。	小浜中学校校舎を活用することについては、前のご意見への回答のとおりとなります。 義務教育学校までの通学方法はスクールバスが考えられますが、ご提案につきましては、今後の通学方法や教育課程の検討時に参照させていただきます。 また、学童等の施設につきましては、改修における検討課題とさせていただきます。 なお、通学先の選択については、個別の事案ですので、回答は差し控させていただきます。
5	6頁 各地域の「適正配置」【岩代地域】	○今まで交流が無いため、環境の変化についていけるか心配 ・旭、新殿地区は中学校やこども園が同じで交流があるが、小浜地区とは交流が無い。少人数に慣れている子どもたちが、同級生が増えることでの環境変化が心配。保護者同士の交流が心配。 ・合併前に学校同士の交流機会を増やして欲しい。 ・イベントや行事、授業などコミュニケーションを取って大人数に慣れさせて欲しい。 ・旭小学校では「親子芸術鑑賞」等子どもたちの成長や保護者同士の交流の機会を多く作っていたので、合併後も同様の行事を残して欲しい。	ご提案につきましては、今後の義務教育学校の教育課程編製の参考とさせていただきます。 また、義務教育学校開設までに、各小・中学校間の交流を重ね、スムーズに義務教育学校で学ぶことができるよう対応してまいります。

No.	項目等	意見	対応等
6	6頁 各地域の「適正配置」【岩代地域】	通学時間は最大でどの程度になるのか。長時間の通学は授業に支障がないと考えられるのか。 部活動で遅くなる場合、遠方の子どもは帰宅後の学習時間が限られ、学力に差が出ることは考えられないか。	児童生徒の通学距離、時間の負担については、検討の際不安視する意見がありました。 一方で、岩代地域の子ども達が一緒に学ぶことを大切に学校での学びを充実させていきたいと考えております。ただし、できる限り通学時の負担を減らすよう、スクールバス等の通学方法を検討いたします。
7	6頁 各地域の「適正配置」【岩代地域】	岩代地域での地域説明会において話を聞くだけでまともな回答をせず、11月に基本方針を発表、順序が違うのでは。説明会の質問への回答が先ではないか	地域説明会で答申内容を説明させていただき、ご意見を伺い、答申を尊重し、説明会でのご意見を踏まえながら基本方針を市長が決定し、基本方針に基づき素案を策定させていただきました。
8	6頁 各地域の「適正配置」【岩代地域】	地形的に横長の地域でなぜ中央部に位置する新殿地区ではなく一番端の小浜中学校を使用することとしたのかその理由を教えてください。	市長が決定した基本方針において、既存の施設を活用することとしており、各施設を比較検討した結果、学校敷地や校舎、体育館の面積が広く、改修や増築を最小限に抑えられると見込まれる小浜中学校校舎を活用することとさせていただきます。
9	6頁 各地域の「適正配置」【岩代地域】	居住地域に学校が無いとなると、今後この地域で子育てしていこうという若者がいなくなりますます過疎に拍車に係るかと思われませんがその点はどのようにお考えでしょうか。そもそも過疎地域に子どもが増える可能性はないという切り捨て的なお考えで今回の決定なのでしょうか。	「児童生徒の学びやすい環境を整備すること」を最優先とし、「主体的、対話的で深い学び」の実現のため、4名以上という適正規模を定めました。 その適正規模に基づき、学校の適正配置の検討を行っております。
10	6頁 各地域の「適正配置」【岩代地域】	スクールバスは必須ですが最寄りのバス停を1台で回ると登校だけで1時間近くかかると思います。学校近隣の子どもたちと比べ2時間の差が出てしまうのは子どもたちには大きな負担です。バス乗車時間のみ短縮のため幹線道路をメインとした運行も避けていただきたい。遠方から通うことになる子どもへの配慮(タクシー派遣等なるべく直線的に登下校できると良い)をお願いします。また、急病等での保護者呼出しも今まで以上に時間を要するので、子どもが不安にならないよう付き添いできる職員の配置があれば良いと思います。	できる限り通学時の負担を減らすよう、スクールバス等の通学方法を検討いたします。 職員の配置につきましては、今後義務教育学校の開設に向けた検討における課題とさせていただきます。
11	6頁 各地域の「適正配置」【岩代地域】	授業開始時刻や時間割について、遠方から通うことになる子どもにとって、現在同様の始業時間では負担が大きすぎます。子どもたちの心と身体の健全な成長を妨げることのない時間配分の検討をお願いします。	義務教育学校の教育課程編成に向けた検討における課題とさせていただきます。
12	6頁 各地域の「適正配置」【岩代地域】	小浜中学校区と岩代中学校区との交流が少なすぎます。正直、子どもたちにも壁があるように感じます。人間関係をスムーズに構築できるよう、統合までの数年間にもっと交流の機会が持てるようにしていただきたいです。	義務教育学校開設までに、各小・中学校間の交流を重ね、スムーズに義務教育学校で学ぶことができるよう対応していきます。
13	6頁 各地域の「適正配置」【岩代地域】	運動会や発表会などには地域住民の参加を呼び掛けるかと思いますが、旭地区は高齢化も進んでおり参加が難しくなるのでは？と思います。そうすると学校行事等への関心の薄れ、ひいては子育てへの関心の薄れへ繋がるのではないかと懸念されます。地域で子どもを育むまちづくりという二本松市の理念とはかけはなれた結果となりうる可能性は無いでしょうか？各地域の方々にも参加しやすいような行事が行われると良いと思います。	地域住民の参加しやすい行事の実施や、地域行事への関わり、またスクールバスを活用して、子どもたちが地域に出て学びを深めるなど、地域に開かれた学校を目指した取り組みを検討してまいります。

No.	項目等	意見	対応等
14	6頁 各地域の「適正配置」【岩代地域】	適正配置の検討委員会に旭地区の現保護者が入っていないことを不満に思います。統合後に通学する子どもの保護者を交えない会議で平等な話し合いや検討が行われ今回の結果に至ったと言えるのか甚だ疑問です。	適正規模等調査検討会には二本松・安達・岩代・東和の幼保、小・中学校の保護者代表や学校関係者、地域住民、学識経験者に参加いただき、グループワークを行い、様々な立場から色々なご意見をいただきました。 適正規模の検討にあたっては、安達太良小、原瀬小、新殿小、旭小の児童、保護者及び教職員アンケートと意見を聞く会を実施し、その意見を踏まえて適正規模や適正配置を検討いただきました。
15	6頁 各地域の「適正配置」【岩代地域】	旭地区から車で直接向かっても25分程度かかります。これを乗り合わせて向かう場合、時間がそれよりも掛かるため、現在より早い時間の起床、帰宅時間が遅くなるのが予想されます。これを低学年児童が行った場合、通学だけで疲れるのでは、という懸念があります。また、中学生においては部活動後に帰宅すると午後7時半から8時を過ぎ、そこから宿題となり睡眠時間が削られる恐れがあります。 これを踏まえた上での通学方法のご検討よろしくをお願いします。	ご指摘の通学に関する負担については、適正規模等調査検討会においても指摘され、義務教育学校開設に向けた課題とされました。 子どもたちに可能な限り負担の無いように、通学方法を検討してまいります。
16	8頁 4 適正配置の実施時期の見通しについて	適正規模等調査検討会での答申に5年も要しており、8頁の見通しでは義務教育学校の開設にさらに6年も要し、あまりにもスピード感がない。	義務教育学校の開設時期につきましては、令和10年から12年の間での開設とさせていただいております。 義務教育学校の開設には、施設の改修や新たな教育課程編成、教職員の確保が必須であり、どうしても準備期間が必要となりますが、地域説明会でのご意見を踏まえ、できる限り早い段階での開設を目指します。
17	12頁 二本松市の児童生徒の推移(推計)	12頁の令和12年度から15年度までの出生数推計に疑問がある。推計では各年11人の推計だが、私が調査した令和6年の出生数は4人で7人の差があり、そのまま推移すると令和18年の全校生は24人で3クラス複式学級となり、その状態だと転出する人も予想され、10人台となる恐れがある。 別な観点での推計で岩代地域の20代30代の未婚者は80人、結婚率は30%で24人となり、10年間で24人結婚する場合、1年あたり3人程度、順次出生すると1年3人の出生となり、将来適正規模の4人を下回る。	出生数の今後の減少は当然危惧される点であり、義務教育学校のできる限り早い開設を目指していきたいと考えております。
18	その他	二本松市は毎年700～800人の人口減少が続いており、10年後には、また学校統合の議論になり、最終的には通学距離等を考慮し、岩代・東和1校、安達1校、二本松2～3校にせざるを得ないのではないかと。合併20年を経過し、旧市町の壁をとりはらい、公平・平等な教育環境を目指し、少子化・子育て対策に重点をおいて欲しいと思います。	学校の適正規模・適正配置に関する検討は、児童生徒数の推移をもとに今後も行っていく必要がある課題と捉えております。 市内全ての中学校区で今後も児童生徒数の推移、施設の状況、地域の状況を見ながら検討していきたいと考えております。
19	その他	No.18をふまえ、さらに通学時間・教育環境・児童生徒ファーストから、施設等の改修も少しで済み、東和地域も岩代地域と人数に差がないと思われ、江戸時代末期に大内氏、石川氏が両地域を支配しており、両地域の歴史、伝統、文化を学ぶことができ、施設が新しい東和小学校への学校統合が最適と考える。	学校を大きく再編することについては、様々な考え方があるかと思えます。 適正規模等調査検討会では様々なご意見から議論を進めていただきましたが、適正配置計画素案では、二本松・安達・岩代・東和の各地域に学校を残すことを基本的な考え方としております。

No.	項目等	意見	対応等
20	その他	<p>市のウェブサイト上で素案の公表及びパブリックコメントについて、6頁から8頁の内容において、既に数年前より学校の適正配置や対象児童の通学時間や方法、学区の選択などの不安の声が上がっており、今後の動きが見えない状況が続く中で今回の公表を偶然知りました。</p> <p>市のウェブサイト上で誰でも閲覧できる状態なのは間違いないのですが、対象保護者への周知や通知が一切無い状態でのパブリックコメント募集、期日締切となっており、私の把握する限り対象の保護者は誰も知り得ず、誰のための公開なのか甚だ疑問です。</p> <p>対象となる子どもの保護者への通知及び周知は必要だと思います。</p>	<p>令和5年12月に二本松市立小学校及び中学校適正規模等調査検討会より適正配置に関する答申をいただき、令和6年6月から7月にかけて、各地域で地域説明会を開催し、答申内容を説明させていただきました。</p> <p>その後同11月に市長が基本方針を決定したことを受け素案を作成いたしました。素案につきましては市のパブリックコメントに関する手続きの定めに基づき、ウェブサイトによる周知方法とさせていただきます。</p> <p>今後、適正配置計画を進めるにあたっては、学校等を通じて情報を発信してまいります。</p>